要約

キーとなるフィールドの値ごとにレコードをまとめ、件数や合計を求める

◇機能

《要約》は、要約キーフィールドの値が同じレコードを1つのグループにまとめ、グループごとの件数（カウント件数）や小計フィールドの合計を求める機能です。結果は画面に表示するか、新しいテーブルとして作成できます。元のテーブルは変更されません。

元のテーブル（売上明細）

売上日	商品No	単価	数量
2024/04/10	A01	1200	4
2024/04/12	B02	800	3
2024/05/20	A01	1200	6
2024/05/25	B02	800	5
2024/06/15	A01	1200	10
2024/06/18	B02	800	3
2024/06/20	A01	1200	4



要約の結果（キー：商品No、小計：数量）

商品No	合計_数量	カウント件数
A01	24	4
B02	11	3

※結果のレコードは、要約キーフィールドの値の昇順に並びます（元のテーブルの順ではありません）。数値は値の順、日付は日付の順、文字は文字コードの順（空欄、空白、数字、英大文字、英小文字、全角の順）です。

※文字の比較では、大文字・小文字、全角・半角、前後の空白が区別されます（例：「A01」と「a01」は別のグループです）。

※要約キーフィールドを複数選択した場合は、すべての値が同じレコードが1つのグループになります。並び順は1つ目のキーの順で、同じ場合は2つ目のキーの順です。

※結果のフィールドは、要約キーフィールド、小計フィールドごとの「合計_フィールド名」、「カウント件数」の順に並びます。オプションで追加される列は「◇要約の結果」を参照してください。

◇メニュー

《分析》-《要約》

※テーブルを開いている場合に使用できます。開いているテーブルが要約の元のテーブルになります。

※テーブルの画面で条件式を設定している場合は、その条件式が「条件式」に入力された状態で開きます。

※テーブルの画面で列を選択してから《要約》ボタンをクリックすると、画面は開かずに、選択した列を要約キーフィールドとして要約が実行され、結果が画面に表示されます。

※操作ログから要約のコマンドを修正することもできます（「■ 操作ログからコマンドを修正する場合」参照）。

■ 操作ログからコマンドを修正する場合

操作ログで要約のコマンドを修正すると、コマンドの内容が設定された状態で画面が開きます。

※各一覧のフィールドが、コマンドに記述された順に選択されます。テーブルにないフィールドは選択されません。

※オプション（13～19）、出力先、条件式は、コマンドの内容が設定されます。

※出力先が「テーブル」の場合、保存先には「04_table」フォルダからの「フォルダ名¥テーブル名」が表示されます。

© 2026 SanKei Biz Consulting, Corp.

◇設定内容



1. 元のテーブル　：要約する元のテーブルの、フォルダ名とテーブル名が表示されます。

2. 《フィールド／レコード》ボタン（必須）　：要約の単位を選択します。初期値は「フィールド」です。
   - 「フィールド」：要約キーフィールド（4）の値ごとにグループにまとめます。
   - 「レコード」：テーブル全体を1つのグループとして要約します（「■「レコード」を選択した場合」参照）。

3. 《フィールド選択》ボタン　：「フィールド選択」画面を開き、要約キーフィールドをまとめて選択・解除できます。

4. 要約キーフィールド（必須）　：グループにまとめるキーとなるフィールドの行をクリックして選択します（もう一度クリックで解除）。
   - 左端の番号は選択した順番です。この順に、結果の並び順とフィールドの順が決まります。
   - 見出しのチェックボックスで、すべてのフィールドを選択・解除します。
   - 「フィールド」の場合は、1つ以上選択する必要があります。

5. 小計フィールドの《選択しない／選択する》ボタン
   ：「選択する」にすると、小計フィールド（7）と、14～16のオプションが使用できます。初期値は「選択しない」です。
   - 「選択しない」に戻すと、14～16はオフになります。

6. 《フィールド選択》ボタン　：「フィールド選択」画面を開き、小計フィールドをまとめて選択・解除できます。

© 2026 SanKei Biz Consulting, Corp.

7. 小計フィールド（任意）　：合計を求めるフィールドを選択します。フィールドごとに「合計_フィールド名」の列が追加されます。
   - 数値型（整数・10進数）と、時間の書式（hh:mm:ss など）の日付型のフィールドだけが表示されます。
   - 複数選択すると、選択した順に、フィールドごとの列が並びます。

8. その他出力フィールドの《選択しない／選択する》ボタン
   ：「選択する」にすると、その他出力フィールド（10）を選択できます。初期値は「選択しない」です。

9. 《フィールド選択》ボタン　：「フィールド選択」画面を開き、その他出力フィールドをまとめて選択・解除できます。

10. その他出力フィールド（任意）　：結果に追加して出力するフィールドを選択します。グループの最初のレコード（元のテーブルの順）の値が出力されます。
   - 要約キーフィールドと同じフィールドを選択しても、列は重複しません。

11. 《フィールド選択》ボタン　：「フィールド選択」画面を開き、集約フィールドをまとめて選択・解除できます。

12. 集約フィールド（任意）　：18で「選択する」を選択すると表示されます。グループのすべてのレコードの値を「,」でつないで1つの値にするフィールドを選択します。
   - 一覧の幅が狭い場合は、各一覧の「書式設定」の列は表示されません。

13. 出力するレコード（最初の1件目／すべてのレコード）
   ：結果に出力する行を選択します。初期値は「最初の1件目」です。
   - 「最初の1件目」：グループごとに1行を出力します。
   - 「すべてのレコード」：レコードごとに1行を出力します。グループの合計や件数は、各行に繰り返して出力されます。
   - 2で「フィールド」を選択し直すと、「最初の1件目」に戻ります。

14. 平均値・最大値・最小値　：オンにすると、小計フィールドごとに「平均_」「最小_」「最大_」の列を追加します。5が「選択する」の場合に使用できます。

15. 標準偏差・合計割合(%)　：オンにすると、「標準偏差_」「合計割合_」の列を追加します。5が「選択する」の場合に使用できます。

16. 中央値・最頻値・Q25・Q75　：オンにすると、「中央値_」「Q25_」「Q75_」「最頻値_」の列を追加します。5が「選択する」の場合に使用できます。

17. 件数割合(%)　：オンにすると、「件数割合」の列を追加します。小計フィールドを選択しない場合も使用できます。

18. 集約フィールド（選択しない／選択する）
   ：「選択する」にすると、集約フィールド（12）が表示され、19が使用できます。初期値は「選択しない」です。
   - 「選択しない」に戻すと、選択した集約フィールドは解除され、19は「付加しない」に戻ります。

19. 参照番号（付加しない／付加する）
   ：「付加する」にすると、集約した各値の前に、グループ内の順番（「1_」「2_」…）を付けます。初期値は「付加しない」です。

20. 出力先（画面／テーブル）（必須）
   ：要約の結果の出力先を選択します。初期値は「画面」です。
   - 「画面」：結果を画面に表示します。最後の行に、テーブル全体の合計とカウント件数が表示されます。
   - 「テーブル」：結果を新しいテーブルとして作成します。テーブルの名前は24に入力します。

© 2026 SanKei Biz Consulting, Corp.

21. 《式ビルダー》ボタン　：「式ビルダー」画面を開き、フィールドや関数を選んで条件式を作成できます。

22. 条件式（任意）　：要約するレコードの条件を入力します。条件に合うレコードだけを要約します。空欄の場合は、すべてのレコードを要約します。
- カウント件数、件数割合、合計割合も、条件に合うレコードだけで計算されます。
- 入力中に、関数やフィールドの候補が表示されます（Ctrl+Spaceで表示、Escで閉じます）。
- 「×」で入力内容を消去します。正しい条件式であることを確認すると、緑の「✓」が表示されます。

23. 《検証》ボタン　：条件式が正しいかを確認します（Ctrl+Enter）。誤りがある場合は、メッセージが表示されます。

24. ファイル保存先（テーブル）　：作成するテーブルの名前を入力します（必須）。出力先が「テーブル」の場合に入力できます。
- テーブル名だけの場合は「04_table」フォルダに、「フォルダ名¥テーブル名」の場合はそのフォルダに作成されます。フォルダがない場合は作成されます。
- 拡張子（.hdf5）は省略できます。「04_table」フォルダ以外の場所には保存できません。
- テーブル名の長さは、64文字までです。
- 記号（「-」「.」「＃」など）や全角スペースは使用できません。名前の最後に「¥」「/」、途中に「..」は入力できません。
- 元のテーブルと同じ名前は使用できません（大文字・小文字やフォルダが違っても同じ名前とみなされます）。
- 同じ名前のテーブルがすでにある場合は、上書きしてよいかの確認メッセージが表示されます。「いいえ」を選択すると、実行せずに画面に戻ります。

25. 《参照》ボタン　：保存画面を開き、保存先を選択できます。

26. コマンド　：現在の設定で実行されるコマンドが表示されます（「◇操作ログ」参照）。

27. 《コピー》ボタン　：コマンドをクリップボードにコピーします。

28. 《キャンセル》ボタン　：実行せずに画面を閉じます（Escキー）。確認メッセージで「はい」を選択すると閉じます。

29. 《実行》ボタン　：実行します（Enterキー）。要約が終わると画面が閉じ、結果が表示されます（「テーブル」の場合は、作成したテーブルが開きます）。

■「レコード」を選択した場合

2で「レコード」を選択すると、要約キーフィールドの一覧は使用できなくなります。テーブル全体（条件式に合うレコード）が1つのグループになり、結果は1行になります。



© 2026 SanKei Biz Consulting, Corp.

◇要約の結果

オプションの設定によって、結果は次のようになります。例は「◇機能」と同じテーブルで、要約キーフィールドは「商品No」、小計フィールドは「数量」です。

■「平均値・最大値・最小値」をオンにした場合

グループごとの数量の平均・最小・最大が追加されます。

元のテーブル（商品No・数量）

商品No	数量
A01	4
B02	3
A01	6
B02	5
A01	10
B02	3
A01	4



要約の結果

商品No	合計_数量	平均_数量	最小_数量	最大_数量	カウント件数
A01	24	6.00	4	10	4
B02	11	3.67	3	5	3

■「標準偏差・合計割合(%)」をオンにした場合

標準偏差と、グループの合計がテーブル全体の合計（35）に占める割合（%）が追加されます。

元のテーブル（商品No・数量）

商品No	数量
A01	4
B02	3
A01	6
B02	5
A01	10
B02	3
A01	4



要約の結果

商品No	合計_数量	標準偏差_数量	合計割合_数量	カウント件数
A01	24	2.45	68.571429	4
B02	11	0.94	31.428571	3

※標準偏差は、グループのすべてのレコードの値から求めます（例：A01は「4,6,10,4」の標準偏差）。

■「中央値・最頻値・Q25・Q75」をオンにした場合

グループごとの中央値、第1四分位（Q25）、第3四分位（Q75）、最頻値（最も多く現れる値）が追加されます。

元のテーブル（商品No・数量）

商品No	数量
A01	4
B02	3
A01	6
B02	5
A01	10
B02	3
A01	4



要約の結果

商品No	合計_数量	中央値_数量	Q25_数量	Q75_数量	最頻値_数量	カウント件数
A01	24	5.00	4.00	8.00	4	4
B02	11	3.00	3.00	5.00	3	3

© 2026 SanKei Biz Consulting, Corp.

■「件数割合(%)」をオンにした場合

グループのレコード数が、全体のレコード数（7）に占める割合（%）が追加されます。

元のテーブル（商品No・数量）

商品No	数量
A01	4
B02	3
A01	6
B02	5
A01	10
B02	3
A01	4



要約の結果

商品No	合計_数量	件数割合	カウント件数
A01	24	57.142857	4
B02	11	42.857143	3

※平均・標準偏差・中央値・Q25・Q75は小数点以下2桁、合計割合・件数割合は小数点以下6桁に四捨五入されます。

※合計・最小・最大・最頻値は、元のフィールドと同じデータ型になります。時間の書式のフィールドは、結果も時間で出力されます（例：04:05:00）。

※オプションを複数オンにした場合、列は14～17の順に追加されます。

■ その他出力フィールドを選択した場合

選択したフィールドの、グループの最初のレコードの値が追加されます。例は「売上日」を選択した場合です。

元のテーブル（売上日・商品No・数量）

売上日	商品No	数量
2024/04/10	A01	4
2024/04/12	B02	3
2024/05/20	A01	6
2024/05/25	B02	5
2024/06/15	A01	10
2024/06/18	B02	3
2024/06/20	A01	4



要約の結果

商品No	合計_数量	カウント件数	売上日
A01	24	4	2024/04/10
B02	11	3	2024/04/12

■「すべてのレコード」を選択した場合

レコードごとに1行が出力され、グループの合計と件数が各行に繰り返されます。その他出力フィールド（売上日）には、各レコードの値が入ります。

元のテーブル（売上日・商品No・数量）

売上日	商品No	数量
2024/04/10	A01	4
2024/04/12	B02	3
2024/05/20	A01	6
2024/05/25	B02	5
2024/06/15	A01	10
2024/06/18	B02	3
2024/06/20	A01	4



要約の結果

商品No	合計_数量	カウント件数	売上日
A01	24	4	2024/04/10
A01	24	4	2024/05/20
A01	24	4	2024/06/15
A01	24	4	2024/06/20
B02	11	3	2024/04/12
B02	11	3	2024/05/25
B02	11	3	2024/06/18

© 2026 SanKei Biz Consulting, Corp.

■ 集約フィールドを選択した場合

「グループ集約_フィールド名」の列（文字型）が追加され、グループのすべてのレコードの値が、元のテーブルの順に「,」でつないで入ります。例は「数量」を選択した場合です。

元のテーブル（商品No・数量）

商品No	数量
A01	4
B02	3
A01	6
B02	5
A01	10
B02	3
A01	4



要約の結果

商品No	合計_数量	カウント件数	グループ集約_数量
A01	24	4	4,6,10,4
B02	11	3	3,5,3

※19を「付加する」にすると、各値の前にグループ内の順番が付きます（例：A01は「1_4,2_6,3_10,4_4」）。

■ 「レコード」を選択した場合

テーブル全体が1つのグループになり、結果は1行になります。要約キーフィールドの列はありません。

元のテーブル（商品No・数量）

商品No	数量
A01	4
B02	3
A01	6
B02	5
A01	10
B02	3
A01	4



要約の結果

合計_数量	カウント件数
35	7

■ 条件式を入力した場合

条件に合うレコードだけが要約されます。例は条件式「[数量] >= 5」の場合です。

元のテーブル（商品No・数量）

商品No	数量
A01	4
B02	3
A01	6
B02	5
A01	10
B02	3
A01	4



要約の結果

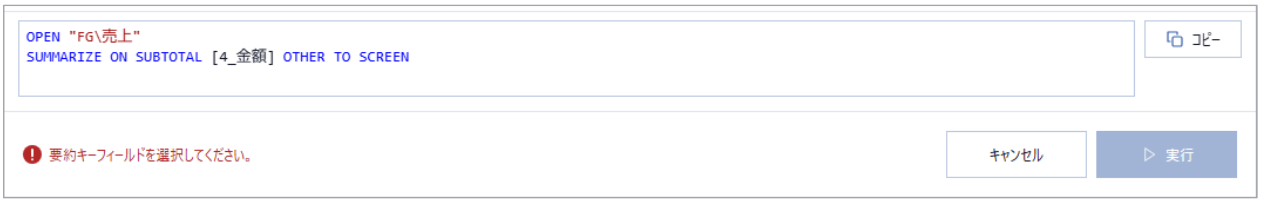
商品No	合計_数量	カウント件数
A01	16	2
B02	5	1

※条件に合うレコードがない場合も、フィールドだけの（レコードが0件の）結果になります。

© 2026 SanKei Biz Consulting, Corp.

◇入力内容に誤りがある場合

《実行》ボタンをクリックしたときに、要約キーフィールドが選択されていない、保存先が空欄などの誤りがあると、画面の左下にメッセージが表示され、該当する項目が赤枠で示されます。項目を修正するとメッセージは消え、《実行》ボタンが使用できるようになります。



※条件式に誤りがある場合は、実行時に誤りの内容を示す画面が表示されます。画面は閉じないので、条件式を修正してもう一度実行してください。

※14～16をオンにして、小計フィールドを1つも選択せずに実行すると、誤りの内容を示す画面が表示されます。小計フィールドを選択してください。

◇操作ログ

OPEN "元のテーブル"
SUMMARIZE ON [キー1] [キー2] ･･･ **SUBTOTAL** [小計1] ･･･ **OTHER** [その他1] ･･･
OUTPUT_ALLRECORDS **IF** 条件式 **TO SCREEN** **STATISTICS** **STDEV** **MODMEDQ** **CPERCENT**
GROUPCOMPILE [集約1] ･･･ **REFERENCE_NUMBER**

各キーワードの意味は、次のとおりです。

キーワード	内容	設定内容
OPEN "元のテーブル"	要約する元のテーブルを開きます	1
ON [キー1] ･･･	要約キーフィールド。選択した順に記述します	4
ON RECORDS	テーブル全体を1つのグループにします	2
SUBTOTAL [小計1] ･･･	小計フィールド	7
OTHER [その他1] ･･･	その他出力フィールド	10
OUTPUT_ALLRECORDS	「すべてのレコード」を出力します	13
IF 条件式	要約するレコードの条件	22
TO SCREEN	結果を画面に表示します	20
TO "保存先" OPEN	結果のテーブルの名前（作成後に開きます）	24
STATISTICS	平均値・最大値・最小値	14
STDEV	標準偏差・合計割合(%)	15
MODMEDQ	中央値・最頻値・Q25・Q75	16
CPERCENT	件数割合(%)	17
GROUPCOMPILE [集約1] ･･･	集約フィールド	12
REFERENCE_NUMBER	参照番号を付加します	19

※下線部（オプション）は、該当する項目を設定した場合に記述されます。「SUBTOTAL」「OTHER」は、フィールドを選択しない場合も記述されます。

※出力先が「テーブル」の場合は、「TO SCREEN」の代わりに「TO "保存先" OPEN」と記述されます。

※各一覧のすべてのフィールドを行の順に選択した場合は、フィールド名の代わりに「ALLFIELDS」と記述されます。

© 2026 SanKei Biz Consulting, Corp.

■ コマンドを直接記述する場合（スクリプトなど）

※フィールド名は「[ ]」で、テーブル名は「"」で囲んで記述します。

※「STATISTICS」～「REFERENCE_NUMBER」は、「TO」の後に上の順序で記述します。順序が違うとエラーになります。

※「STATISTICS」「STDEV」「MODMEDQ」は、「SUBTOTAL」にフィールドを記述した場合だけ使用できます。

※「SUBTOTAL」のフィールドは、数値型または時間の書式の日付型だけです。文字型や日付（yyyy/mm/dd など）はエラーになります。

※テーブルにないフィールドを記述したり、結果のテーブルに元のテーブルと同じ名前を指定したりするとエラーになります。

オプションの例

オプションの記述	要約の結果
（なし）	商品Noごとに「合計_数量」と「カウント件数」を求めます（「◇機能」の例）
STATISTICS	「平均_数量」「最小_数量」「最大_数量」を追加します
STDEV CPERCENT	「標準偏差_数量」「合計割合_数量」「件数割合」を追加します
MODMEDQ	「中央値_数量」「Q25_数量」「Q75_数量」「最頻値_数量」を追加します
GROUPCOMPILE [数量]	「グループ集約_数量」に「4,6,10,4」が入ります
GROUPCOMPILE [数量] REFERENCE_NUMBER	「グループ集約_数量」に「1_4,2_6,3_10,4_4」が入ります

※例は「◇要約の結果」と同じテーブル（キー：商品No、小計：数量）です。

例

```
OPEN "売上¥売上明細"
SUMMARIZE ON [商品No] SUBTOTAL [数量] OTHER TO SCREEN
SUMMARIZE ON [商品No] SUBTOTAL [数量] OTHER [売上日] TO SCREEN CPERCENT
SUMMARIZE ON [商品No] SUBTOTAL [数量] OTHER IF [数量] >= 5 TO "商品別" OPEN STATISTICS
SUMMARIZE ON RECORDS SUBTOTAL [単価] [数量] OTHER TO SCREEN STATISTICS
```


© 2026 SanKei Biz Consulting, Corp.